

母校生徒 日中の架け橋へ

柏豊



母校が北京の豊台二中と日中友好姉妹校を締結。
 その調印式に母校生徒も現地を訪れ出席。
 渡航費用等を柏豊会から援助しました。(3ページ)

同窓会 年に一度

6月7日(日) 総会・親睦会

☆新型コロナウイルスの影響により、
 中止と致します。

中止

同封はがきによる議決となりますので、ご返信ください。

卒業からだいぶ経ちました。
 そろそろ同期会はいかがでしょう？
 来年は・・・

卒業30年
 平成3年卒
 (高校43回)

卒業40年
 昭和56年卒
 (高校33回)

卒業50年
 昭和46年卒
 (高校23回)

ホームページもご覧ください

<http://www.hakuhou.biz>

柏豊会の最新情報を発信しております。

お問い合わせは ✉ member@hakuhou.biz



「心豊かな実行の人に」

柏豊会会長
鈴木(豊田)優子
(高校14回)



会員の皆様には益々お元気で活躍の事とお慶び申し上げます。今年度は東日本大震災から9年、住宅、又公共インフラ整備等は最終局面を迎えながら未だ避難生活を余儀なくされる約4万8千名の被災の皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に小さな支援ではありますが続けさせて頂きたいと思っております。今年3月14日めでたく72回生270名が卒業されました。今年度はご存知の様に新型コロナウイルスの影響で卒業式は保護者、来賓の出席者は無く先生方、卒業生と生徒会長一人の参加となりました。保護者の方々も寂しく残念な思いと存じますが最後を迎える卒業生が一番悔しく寂しい事と思っております。新型コロナウイルスは世界中に広がり大変な騒ぎとなつていますがこの会報がお手元に届く頃は全て終息している事を切に祈ります。

2倍となりました。今年度は「日本資本主義の父」「福祉の草分け、創始者」とも言われる渋沢栄一の生誕180年。渋沢は元氣旺盛な実行の人であると共にどんな時でも目の前にいる一人にすべてを注ぐ至誠の人だったといわれ、又タゴール、孫文、グラント大統領等と友好を結ぶ対話の名手でもありました。彼の「世に至誠ほど偉力あるものはない」との言葉等から今、令和という新しい時代を迎え彼の生涯から時代を創るリーダーの元氣、誠実さを学び、私たちは豊島生として至誠つまり誠実を尽くし共に歩んでいきたいと思っております。

昨年は天皇陛下即位改元、ラグビーW杯8強、又悲しみの京アニ放火、36人死亡、外国も香港大規模デモ、ノートルダム大火災等がありました。今年度は東京オリンピック・パラリンピックの大成功を!!と思っておりますが1年の延期の模様。私事ですが一生の内に二度も夢の祭典に立ち合える事は素晴らしい貴重な体験と思えます。来年の無事開催を楽しみにしております。

今年度も母校への援助や文化財保護への支援、文化祭には同窓会サロンを設け同窓生に纏わる展示を開催します。又この数年通信協力費が激減し1/3になっておりますのでどうか是非ともご協力をお願いいたします。豊島の伝統である至誠、文武両道の精神を大切に、皆様のご健康とご活躍、心豊かな日々であります様お祈り致しますと共に益々のご協力を心よりお願い申し上げます。

学校の近況から

豊島高校校長 大山敏
(さとし)



柏豊会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に種々ご高配を賜り、誠にありがとうございます。

一昨年8月から始まった仮校舎生活も1年半たち、生徒もすっかり慣れたかのように、あくまで「かりそめ」でしかないこの校舎の無味乾燥さは、グラウンドが全く使えないのみか、新校舎基礎工事の振動がしばしば続いたこととも相まって、少しずつ生徒の精神にマイナスの作用をもたらしています。隣の旧豊島区立第十中学校の校庭が、豊島区の意向で今年9月から使えなくなるため、そうでなくとも体力測定結果が男女とも東京都平均より低い、という課題を抱えている生徒の体育の授業に支障が確実にあります。大きな課題を感じております。柏豊会員の皆様には、使用可能な体育施設(体育館やグラウンド)についてぜひお知恵をお借りしたいと思っております。

一方、施設面で他の高校より不利な状況にある本校への、中学生やその保護者の人気はうなぎのぼりで、平成30年度に比べ、およそ倍の6千人が本校の学校見学・説明会に訪れ

てくれました。入学者選抜の倍率も、女子は推薦が4倍、一般が2倍となるなど、来年10月から入れる新校舎と、5年ぶりに臙脂(えんじ)のスクールカラーを採り入れた新制服への期待から、本校入学希望者は今後、確実に増え続けます。

しかし、外面(そとづら)だけよくてもいけません。校訓「至誠」を「何事にも誠心誠意全力を尽くす」生徒の育成として内外に発信し、「一段高い進路希望の実現」「主体性の発揮」を教育目標の両輪としました。進路探究部を新たに設置して早朝学習やスタディラボ、理数サポーター塾を充実させ、希望参加だった朝学習を全員受講としました。さらに今年度からは探究活動を学習の柱に据え、高校入門期合宿を実施し、勉強合宿を再開します。また、昨年の体育祭は自ら手を挙げた実行委員が自主運営を行いましたし、同窓会のご支援で生徒会長が北京で豊台中生と姉妹校の調印をし、生徒が主体性を発揮する機会となる国際交流の足掛かりをつくりました。

今後、様々な方策を実現していきます。ご期待ください。



日中友好姉妹校締結に参加しました



母校に赴任して

岩崎 克弥(高校38回・S61年卒)

♪流れくは清し 千川 岸のく桜
かがよふ
え?歌える!決してまじめな高校
生活を送っていたとは言えない私
も35年ぶりに校歌が歌えることに
分でも驚きました。2番はさすがに
歌えませんでした。笑
母校に戻る:高校時代、選択授業
で体育を専攻し、教員希望の仲間と
共に夢を描いていたことが実現する
!意気揚々と千川駅を降りてみると、
景色は様変わりしてました。しか
し交差点の角2階に「ひじり湖」が
あることに驚き、土曜ランチに一緒
に来ていた仲間たちの顔も思い浮か
びます。今まで思い出さなかったこ

とがフラッシュバックして脳裏によ
ぎります。
「あれ?正門がない!」と超ショッ
ク。半分壊されかけた理科棟校舎。
本校舎に至っては跡形もなく解体さ
れていました。そこに建っていたの
は、まるで工事現場の事務所を大き
くしたようなプレハブ校舎。そこ
は、もう懐かしさの微塵もありません
でした。
道すがら思い出していたのは、わ
れ先にと焼きそばパンを競い合った
生徒昇降口。白い胸像を木炭デッサ
ンすると何度描いてもイカンガ
ンになってしまった美術室。入学当初先
輩に生意気な口を叩いて呼び出され
た中央階段の一番上。代返がバレて
毎日放課後「ワム掃」をした柔道場。
自分の帰りを待ってくれていたSさ

んがはしゃぐ渡り廊下。唯一残って
いたのは調子に乗ってバク転して頭
が突き刺さった体育館だけでした。
まったく感激の欠片もない母校と
なり、淡々と始業式を迎えました。
着任のあいさつでは「私の高校時代
は『掃除の豊島』と言われていまし
た。『挨拶の豊島』っていうポスタ
ーが貼ってあるのに挨拶もろくに
きねえなあ」とカマして生徒はド
ン引き。ああ気持ちが悪えていく。
ところが校歌が流れた瞬間に「母校に
戻ってきたんだ」と冒頭の感激に変
わるのでした。
伝統と新生。豊島高校で微力なが
ら後輩の指導に尽力を注ぎたいと思
います。よろしくお願ひ致します。最
後までご拝読ありがとうございます。

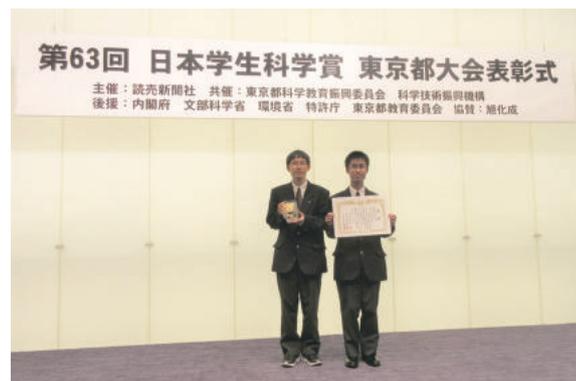
こんにちは。豊島高校の前生徒会
長の長尾唯愛と、現生徒会長の遠藤
裕太です。
本年度、豊島高校は海外学校間交
流推進校に指定されました。それ
を受け、昨年7月7日から9日にか
けて校長先生をはじめとする先生方
と中国の首都・北京市へ訪問しま
した。そして私たち2名は、豊島高
校生徒代表として豊島第二中学校
との日中友好姉妹校締結の調印式に
参加しました。
最初の姉妹校調印式はとても緊張
しましたが、両校の生徒同士でお互
いの学校生活の様子等を質問し合
ったり、給食をみんなで食べたりし
たことで、時間が経つにつれてと
も穏やかな雰囲気となりました。今
後は本校と豊島二中の生徒がもっと
深い交流をして、都立高校生の日中

好のモデルケースとなるようにした
いと思います。
また、在中日本大使館や中日友好
協会の訪問、世界遺産である故宮・
紫禁城や万里の長城などの視察もさ
せていただきました。異国である中
国の文化や歴史に触れることができ
、日本と中国の友好への道を考える
とても良い機会となりました。
最後になりますが、柏豊
会今回の訪中は、柏豊
会のご協力を頂きま
した。皆様のおかげ
で有意義な日中友好
姉妹校締結式に参加
することができまし
た。誠にありがとうございました。
ごさいました。今後
も豊島高校生徒の活躍のために、ご
支援をよろしくお願ひいたします。



科学部生徒、今年も大賞を受賞

昨年の会報で科学部の生徒が第62
回日本学生科学賞の全国大会にて、
「変化アサガオの光合成色素の研究」
というテーマで「入選一等」を受賞
したというニュースを掲載しました
が、昨年開催された第63回日本学生
科学賞東京大会においても2年生
(当時)の塩浦徳幸君と2年生(当
時)の吉本康聖君が「藍の生葉染め
の研究」で最優秀賞を受賞しまし
た。なお、この後開催された全国大会
では、残念ながら賞を逃すものの今後
の活躍が益々期待されます。



2019年10月26日(土)
よみうり大手町ホールでの表彰式

バスケットボールと共に



宗田 昭弘さん
(高校13回
S36年卒)

NPO法人豊島区バスケットボール協会理事長
NPO法人豊島区体育館館長
前豊島区立体育館館長

東京オリンピック、パラリンピックは延期されましたが、日本の男女バスケット、車椅子チームも参加出来るはず、NBAで八村塁選手などの活躍が期待されるなど、バスケットボールが盛り上がっています。豊島高校でひよんなことからバスケットボールと出会い、現在はNPO法人豊島区バスケットボール協会理事長まで務めることになった宗田昭弘さんにお話を伺いました。

バスケットボールとの出会い

中学生(豊島区立千川中学校)の時は心臓が悪くてどちらかと言えば運動禁止に近い状況でしたので、バスケットボールはやっていませんでした。時々、バレー部の人数が足りないうちに付け足しでアタッカーをしたくらいでした。185cmの身長は当時では貴重な存在で、走らなくていいバレーボールなら何とか出来たのです。

豊島高校に入学したら、男子バレー部は無かったので、中学時代の事を知っていた何人かに誘われてバレー

部の先生のところに行ったのですが、男子のバレー部は作らないと却下されてしまい、誰かが言い出した弾みでバスケット部に入部したのが全ての始まりです。

バスケット部の部員時代

松久(松原先生)さんが顧問でした。この時は女子の指導に一生懸命で男子の方はほっぽらかしに近い状態に感じましたが、きちんと活動しているように見えました。

バスケットボールは未経験でした。cmの身長はここでも貴重な存在でしたので、一級先輩の園山さんがすぐく面倒見てくれました。3キロとか5キロのマラソンをよくやらされたのですが、心臓が良くなった訳でも無く走り出してすぐにモウロウとして倒れそうになるので園山さんがずっとついて来てくれました。何とか完走(完歩?)して帰ってもダウンするし、園山さんはその間練習出来ない等で暫らくしてマラソンは行われない等で暫らくしてマラソンは行われない等になりました。ちよつと激しい練習(他の部員にとっては普通)をすれば倒れこんでしまい、水を掛けられて起こされたりする事もあったし、ほとんどは日陰に干される状態でトドのように寝ていました。

夏の校内合宿(同窓会館で寝泊まり)の時に寝てばかりいるから、お風呂が引取りに来て、松久さんに「本人がバスケットをやりたいと言おうし、死んでも先生の責任にはないので続けさせてほしい」とお願いしたらOKしてくれました。おかげで何とか練習を続ける事が出来たのですが、チームメイトからは「練習時間の半分以上は寝ていた」と言われ

れます。5級先輩方が東京都ベスト8になって関東大会に行ったことがあり、俺たちの代も結構頑張ったところ、強くなると、松久さんは男子の方を優先して指導し、関東大会出場を期待されるようになりました。結果はダメだったけれど、少し甲高い声で厳しくて怖い松久さんが辛抱強く見守ってくれたお陰で最後はレギュラーになったし、高校時代は十分バスケットボールをやった気がします。

バスケット部コーチ時代について

同期の泉田、高橋(雅)、伊藤等は大学でバスケットを続けたが自分も練習したくありませんでした。豊島区バスケット連盟主催の一般人大会に高校の同期のメンバーで参加してました。また、その豊島区バスケットボール連盟の仕事を手伝うことにもなりました。

そんな日々を過ごしている時に豊島高校バスケット部のOB会(豊籠会)の忘年会か新年会でお酒を飲みすぎちゃつとウトウトしていたら、手を叩く音が聞こえて目を覚まして



個人公開 ミニバスケットボール

も手を叩いたら、「お前がコーチに決まった」と言われました。「え!」と思いつつも、何故か「男子?女子?」とさらに聞いた記憶があります。

その頃は松久さんの指導のもとでOBが男女のコーチをやっています。私が女子部のコーチに就任した年に松久さんが大山高校に転任されて、後任に三戸先生が着任されました。三戸先生はバスケットボールの指導は未経験だったのもあって一生懸命にコーチングの勉強をしました。高校から始める生徒を歓迎し、自分

は心臓が良くなかったし、走れなかったから、そういう生徒がいたら何とかバスケットが出来るようにコーチングしてやろうと思っていました。実際に三戸先生と相談して心臓の良くない生徒を入部させた事もありました。

普通は後輩にコーチを引き継いでいくものなのですが、コーチになった時が中央大学哲学部大学院修士課程に在学中で、前任のコーチは5級後輩でした。現役の女子部員には「変なオヤジが来た」と思われるだろうから、前任コーチの加藤には継続して手伝って貰うことにしました。

高校生を教えるのに最初は理解出来ないのを生徒のせいにして怒ったりわめいたりしていました。当時はままあった事だけ叩いた事もあって、大きな手で太ももを叩いたらお風呂あがり手の痕が浮き出てきたと言われたので、それからスリッパでお尻を叩くようになりました。うまく叩くと体育館中に「パーン」とものすごい音が響くけれどそんなに痛くはなかったはず。自分の未熟さに気付いてきました。

そこで、何人もいる中で、何を言いたいのか、誰に言っているのかを「あ、私だ」と思えるタイミングで指摘しようと思いました。生徒が理解して、たった一つでもプレーがうまくなればと思っても必然的に声が大きくなり思いますが、それが今の声を養ったと思います。

同時進行的に豊島区バスケットボール連盟では理事になっていて、弟の研二(後に1972年ミュンヘンオリンピック代表)が中央大学でバスケットをやっていた関係もあって、豊島区で審判講習会を開催することが出来ました。そして自ら公認審判の資格を得て、審判をすることを条件に有名校の先生方に押しかけをお願いしているのと教えてもらいました。有名校には様々な高校が練習試合に来るので混ざって試合もさせてもらったりもしました。

残念ながら、入学してからバスケットを始めました子もけっこういたし、定時制があつて遅くまでは練習が出来ず、そのせいばかりではないけれど、2、3回戦で負けてしまう程度でチーム力でした。それでも真面目にバスケットに向き合っただけで部活動を行って卒業していったと思います。

連盟との関わり

同期の仲間と試合がしたくて連盟に出入りして、昭和42年に出来た豊島体育館の設計に指導員室や喫茶食堂があつた方がいとか意見を言った事が発端になりました。豊島体育館が出来ると連盟の理事として、また、バスケットボールの指導員として豊島体育館の運営に関わるようになりました。さらになかなか引き受け手がいなくて自分の要

望でもあつた体育館の売店・喫茶食堂を経営することにもなつてしまいました。売店をおふくろが担当し、料理人はおやじが銀座でレストランの会社に関わっていた関係で手配してもらつたの未経験の世界ではありましたが、体育館に集まつた選手や関係者が繋がって行つた憩いの場となつていました。

豊島区バスケットボール協会

最初に思ったことは「審判を何とかしたい」との思いです。一般的には帯同審判制度で試合が行われていたのですが、審判のレベルが低くて試合が引き締まらなく、盛り上がりも薄れてしまつて選手に満足感が生まれにくい。試合を詰まらないものにかねない状況でした。そこで、先にも述べたように日本協会のトップレベルの審判による講習会を実現して審判育成の形を徐々に作りました。初心者から始めて経験を積んでいけば、東京都の公認、日本の公認にチャレンジ出来る審判育成システムです。連盟から平成17年に協会になつて、審判講習会を毎年開催し、これまでに延べ70名近い日本公認審判員を輩出していきます。その中には、日本バスケットボール協会の審判委員長になつた小池氏や東京都の審判委員になつた人もいます。豊島高校のOB・OGも13名いますし、現在も豊籠会(豊島高校バスケット部OB・OG会)を介して2人のOGがチャレンジしています。

現在は協会主催で、ほぼ毎週日曜と祝日は主に豊島体育館でバスケットボールの試合が行われています。年間リーグ戦、トーナメント戦として450試合が協会の審判で実施

されています。試合は男女別以外に45歳以上、60歳以上のカテゴリーを設け、年をとつても試合が楽しめる環境になつています。豊島区以外からの参加希望も多く、出場可能なので、協会に登録しているチーム数は、一般男子7部制で43チーム、女子2部制で14チーム、45歳以上は2部制で13チーム、60歳以上が5チームと合計で75チームもあります。現状の体育館では、これ以上の試合数もチーム数も増やすことなど不可能なほど、盛んに生涯スポーツとしてバスケットボールが行われています。

豊島体育館では土曜日が一般の個人公開のバスケットボールの日です。2面あるコートではカテゴリー別に利用日、利用時間が分けられ、指導員がついて4歳のちびっこから80歳を超えるシニア世代まで老若男女問わずに楽しんでいます。さらにパラリンピックの競技用車椅子バスケットとは少し違う、健常者と障害者が一緒になつて行う車椅子ツインバスケットボールの指導普及も月2回行われています。

次なる展開・発展へ

「バスケットボールに親しめる環境を創出し、生涯に渡りスポーツを楽しむことで社会体育の普及・発展、一般市民の体力向上、健康の増進に寄与すること」を目的に地道に継続して活動して来ました。

ちよつとした事から始まつた「ラオスのこども達へのユニフォーム・ボールの支援」の活動は引き続き行い、将来的にはラオスのこども達を日本に招いたりして関係を広げられればと思います。

豊島体育館が出来た当時には体育館の施設利用率が低いので予約の空きがない状態までバスケットの試合を開催することができましたが、現状の豊島区内の体育館設備では試合数をこれ以上は増やせない。だからではないですが、協会としては「質の向上」を考えています。

協会の運営を継続していくために役割分担をしっかりと決めて、試合日程の確保、個人公開の指導員や審判のレベルアップなど責任のある立場を任せられる人材もいるので任せていきます。満杯で協会に新たにチーム登録する事が出来ない現状ではきちんと活動していないチームなどは整理する事も検討する必要があります。

豊島高校バスケット部OBとして、豊籠会を通じて豊島区バスケットボール協会が公認審判員の育成などで少しでも高校の部活動の手助けになるように協力出来ればと思います。



シニアバスケットボール

協会で活躍する豊島高校卒業生

豊島区バスケットボール協会に現在所属している皆さんに高校での思い出と協会への思いを寄せてもらいました。

○本間幸一さん

(高校34回・S57年卒)

高校では楽しい思い出が多いのですが、バスケの夏合宿(校内合宿)だけは、ひたすら走る練習で辛かった記憶しかありません。1年生の時の合宿後は足がパンパンで、しばらく自転車もこげませんでした。

協会には軽く30年以上在籍し、平成14年から昨年末まで審判部長を務めました。今般、後輩の岡田(平成4年卒)に部長を委譲したところです。バスケの審判を通じて人としての成長の機会を与えて頂いた宗田さんには感謝しかありません。今後は後進の指導に軸足を置き、諸先輩の教えを後輩に伝えていくことで、恩返しが出来ればと思っております。

○安藤弘志さん

(高校37回・S60年卒)

夏合宿(校内、同窓会館)に先輩方が沢山(延べ100人?)来るのに驚きました。

2学年先輩が東京都ベスト8になって強かったです。翌年は素質もなくて弱いと言われました。でも、関東大会予選で強豪の明星高校や世田谷学園を破って、ベスト16になれてとても嬉しかったです。

協会では約30年、指導員やミニバスコーチ、審判をやってきました。宗田さんには女子バスケット部コーチをすることになってから現在まで、

指導者としての姿勢や考え方、人への思いなど時間を惜しむことなく教えたいて感謝するばかりです。その教えを後輩達に少しでも伝えられるように心掛けています。

○岡田穰さん

(高校44回・H4年卒)

高校では部活の思い出ばかりです。コーチがマネージャーに練習メニューを伝えて練習をしていたのですが、マネージャーには迷惑ばかりかけて反省しています。

協会では審判の勉強を始めてもうすぐ30年です。ミニバスからシニア、障害のある方などにバスケを楽しんでもらえる環境を作って、知的障害者のバスケット大会の審判や秩父市の審判講習会に講師を派遣する活動などに携われて良かったと思えます。

○小川誠一さん

(高校45回・H5年卒)

卒業してからも先輩方が夏合宿に激励に来てくださり、後輩の面倒を見る事が伝統として続いている良い高校でした。

社会人になってから、宗田さんの紹介で豊島体育館の毎週土曜日のバスケットボール個人開放日に利用者のサポートとして指導員をすることになりました。宗田さんが幅広く生涯スポーツとして楽しめる環境作りを尽力下さったおかげで、私自身も楽しみながら活動できていることに感謝しています。

○森太一さん

(高校46回・H6年卒)

部活の夏合宿(校内)では近所の銭湯に皆で行き、夕食後にはOBの

方が社会人の体験談をしてくれた事などが最も思い出に残っています。

協会に携わって約24年、当初は審判として、公認審判の資格を返却してから車椅子バスケット(ツインバスケットボール)の指導員を続けています。豊島区バスケットボール協会は全国でもトップクラスの協会だと思えますし、宗田さんへの感謝を忘れずに今後も携わっていきたいと思えます。

○木内璃菜さん

(高校69回・H29年卒)

女子バスケット顧問の緒方先生は優しかったし、楽しい時間を仲間と過ごせました。新人戦の東亜学園戦で勝てばベスト16の試合が惜しかったのが思い出されます。

審判講習会に参加して2年が過ぎてB級審判の資格を目指しています。豊島高校の卒業生では久しいようですが、昨年卒業したOGも審判の勉強で来ていますし、負けな

いように協会で役立つ人員になりたいと思えます。



車イスツインバスケットボール



審判講習会

豊籠会便り

(バスケットボール部OBOG会)

本年の豊籠会総会・親睦会は3月28日(土)に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で困難となり延期することになりました。

6月27日(土)に再度開催を予定いたします。3か月の延期で好転する事を祈り、開催する場合は5月中旬頃に改めてご案内いたします。尚、6月の開催が出来ない場合は再度の延期はせずに中止とします。

去年は女子バスケット用に横断幕「直向きに頑張ろう！」を制作しました。平成9年の関東大会ベスト8で製作された横断幕が非常に立派な物(M3000E1800)で持ち運びや張るのに苦労していましたが、今年でコンパクト(M3000E1200)な軽量の横断幕です。

豊籠会の目的「会員の親睦、現役部員との結び付きと物心両面への援助」を図るために、OBOG会の存続に努力を継続しております。年会費(一口千円以上)を昨年は93名の方に協力いただいております。

来年も3月上旬に豊籠会を開催する予定です。6月27日に参加できなくても、是非、来年は出席頂いて、高校生時代の話で盛り上がるひとときを共有できればと思えます。

【連絡先】大野
携帯電話 080-4677-0071
Eメール oo-no.0701k@outlook.jp



返信はがきの中から

昨年の会報でお知らせしました通り、総会返信はがきの宛名面下部のメッセージ欄にお寄せ頂いた皆さんの学校の思い出や近況などから編集委員が選定、掲載させて頂きました。来年も編集委員が選定のうえ会報に掲載しますので掲載希望の方は、返信はがきのチェック欄に印をお願いいたします。(ない方は掲載しません)

◆今関 敦先生(旧職員)

私は、20歳の時から70歳過ぎまで主として高校・大学で教員生活を続けました。中でも豊島高校時代はもっとも楽しい思い出に満ちているようです。よき生徒たち、先生方にくぐまれたのです。今は事情により東京を離れています。が、いづれ東京に戻るつもりです。

◆長坂 昇先生(旧職員)

「ニューヨークタイムズ」を読んで意見を書こう。講座を早稲田大学で教えています。米寿の祝いに高尾山にのぼりました。

◆森孝先生(旧職員)

昭和43年大学院に籍を置きながら1年間だけの講師としての教員生活でしたが、その豊島での1年間がその後の44年間の教員生活(横浜の私立聖光学院)の礎になりました。今でも豊島高校の校歌を想い出し口ずさむことがあります。素晴らしい校歌でした。あの時の約400名の高生の生徒達：可能ならば又会いたいです。50年以上昔に戻って、皆さんどうしているだろうか：懐かしい！

◆白井(生松)照代さん(高女1回S16年卒)

新設されたばかりの第十高女に1期生として入学しました。生徒が皆健やかに育ってほしいという若き校長先生の願いにより、全校挙げてバレーボールに取り組みました。始業前、昼休み、放課後とまさにバレーボール三昧。1クラスに1面ずつ専用コートが与えられ、存分に練習できました。日本が戦争に向かっていた時代でしたが、学校の中は穏やかに満ち足りた時間がありました。

◆小川 秀子さん(高女1回S16年卒)

第十高女の自由な教育のおかげで、研究者生活を全うしました。国立衛生試験所を経て(現国立食品衛生研究所)相模女子大教授として現在相模女子大名誉教授です。1992年に退職しました。95歳です。薬学博士(東北大学)専門は天然物有機化学。大学では生化学を講義しました。

◆山口(佐藤)千鶴子さん(高校3回S26年卒・旧職員)

豊島高校の生徒として6年間、その後豊島高校英語科の教師として18年間、先生方や生徒の皆さんから多くを学ばせていただき、感謝しています。特に87歳の今、教え子からの度々のお声がけに「教師冥利」を有り難く味わっています。

◆加藤 貴之さん(高校23回S46年卒)

昔の校舎の写真を観る度に苦しかったテニス部(軟式)の中庭での練習がなつかしく思い出されます。何も戦績はあげられませんが、健康と忍耐力という人生の基礎を頂きました。

豊島十四会(昭和37年卒)同窓会

2020
みんな会おうよ!
14回生

さっそくカレンダーに印をつけて、
この日を空けておいてください!

10月20日(火)

(TEL 03-3980-1111)

午後1時より池袋ホテルメトロポリタン



お問合せ 落合 光太郎 03-3959-5411
鈴木(豊田) 優子 03-3972-4037

千早会III(高女9回・高校2回)開催のお知らせ

今年は5月20日(水)です。
(5月第3水曜日)
午後1時30分から
池袋ホテルメトロポリタン2階
「花むさし」なんと55年間も続いている「千早会」です。今年も大勢の懐かしいお顔に会えますようにと願っています。
幹事：尾崎 三重 090-4615-1974
花形由紀子 0471-55-4058

▼△▼ 豊島会だより ▲▽▼

[広告]



《豊島会》は同窓会「柏豊会」を母体に発足し、現在は一般財団法人として、講演などの公益活動“豊島会フェスティバル”を、広く都民対象に展開しております。昨秋の母校文化祭では、柏豊会が出展する同窓会サロンの協賛にて、瀬在明先生の講演《ハートtoハート》や《JAMESの紙芝居》を開催。12月には“日本の伝統芸《落語》”を楽しむイベントを催し、約130人が参加し盛況となりました。

“豊島会フェスティバル”は今後も継続して開催予定です。同窓生の皆様も、ぜひ、お誘い合わせてご参加ください。
詳しくはこちら (<http://toshimakai.livedoor.blog/>) =>



同期会 OB・OG だより

高校10回卒(S33年卒) 同期会

令和元年11月6日

於・池袋東武バンケットホール

年号が改まった令和元年の11月6日、卒業30年後の初めての同期会の会場である、池袋東武の「バンケットホール」で傘寿(80才)の記念すべき同期会を開催いたしました。前回、喜寿の年の同期会で最終にすることを提案したところ、多くの方から80歳でもう1度会いたいとの意見が出され今回の開催となりました。160人に開催通知を送り大勢の参加を期待しましたが、残念ながら僅か23名の出席でした。しかし、返信ハガキには、趣味を生かされて手芸教室を開かれたり、フラダンスやフォークダンスに参加したり、町会の役員をされたりとお元気で活躍の様子が伝わってきました。また、病院に通われていらっしゃる方もいらっしゃいましたが、お互い様に80歳を過ぎてても元気でいられることに感謝したいと思えます。

高校16回卒(三九会) 同期会

令和元年10月26日

毎年実施する事になりました三九会の懇親会を池袋西口公園裏サンダロウビル7Fで行い、13名の皆さんが参加されました。今回は天候不順に台風の影響が重なったせいも、直前での欠席連絡者が多く、参加者が前回に比べ10名も減少してしまいま

した。同期会で約東した年1回の集まりは、お互いの元氣を確認しあい、健康・活躍情報を楽しめるうものでも、時の過ぎるのも忘れ、今回も楽しい時間を共有する事が出来ました。今年集いは、10月24日土曜日17時から行います。場所は昨年と同じ西口「えん」。参加者は一週間前までにメール・LINEでご連絡下さい。 ymeogawa@nifty.com

【三九会世話役 小川寛美】

高校17回卒(S40年卒) 同期会

令和元年10月17日

於・椿山荘

古希を祝う会から3年、再び同期生から声があがり、2019年10月17日(木)椿山荘にて50名の参加者で開催されました。遠方(新潟・香川・奈良)からの参加もあり、従



来より小じんまりとした集まりになりましたが、時間を忘れ楽しい会になりました。次回は喜寿の会になるのででしょうか?皆様が元気に又お会いできますように! 【幹事一同】

高校20回卒(S43年卒) 3組クラス会

令和元年10月9日

於・ホテル第一イン池袋 Rピノ

卒業して52年、「皆で古稀を祝う記念の会」と銘打って催した令和元年10月のクラス会には、21名の参加がありました。介護、孫育の時間をやり繰りして参加されたクラスメイトも多かったようです。が、再会を喜び合い、楽しいひと時を過ごすごことができました。



また、今回は特別に「思い出のアルバム」を企画。持ち寄った高校時代の写真をスクリーン投影しました。大きな画面に食い入るように見ていた仲間其々のナレーションもあり、大いに盛り上がりつつありました。よく飲み、よく喋り、青春時代の思い出が蘇る貴重な時間を共有することができた3時間でした。後日、3組の担任でいらした英語の新井先生のお住まいを訪問。クラス会にはご参加いただけませんが、とてもお元気で、クラス会が続いていることを大変喜んでくださ

【幹事一同】

高校25回卒(S48年卒) 2年3組クラス会

令和元年11月17日

於・サンシャイン60のレストラン

去年、令和元年、11月17日に、我々65才の節目を迎えてクラス会を催すことが出来ました。89才になった担任の長坂昇先生(英語科)もご健勝で出席なされました。50年近くの再開でも皆、何も変わってなくタイムスリップでした。私たちの青春の幕開けは入学試験合格発表日からです。その日は珍しく大雪でした。雪すだれの見え方には嬉しかった。みんな同じ気持ちだったと思います。正方形の木造校舎で木造の講堂で入学式が挙行され、木造の体育館で新入生歓迎会が催されて、先輩達とフォークダンスを踊りました。2つ上の綺麗な女子と手を合わせるときは忘れません。2年3組の教室の脇には八重校の並木道と自転車置き場と大樫がありました。まだその大樫はあります。春には大樫が芽吹き、そよぎ、その鮮明さは目と心に残っています。「校窓や若葉高きに5時間目」 TOMMY 日本屈指の俳人、森澄夫先生(社会科・世界史)の影響か、私が俳句をかじるようになったのは。



25回生は、丁度、木造校舎から鉄筋コンクリートの新校舎に変わる頃で3年生の時は木造の校舎と新校舎でクラスは分かれて運営をされていきました。

卒業式でキツパリと楽しい時間が終わった時は非常に淋しかったですが2度と取りに帰れない忘れ物が机の中にありそうで！

それを糧にして、みんな努力し、自分の道を切り開いてきたのがクラス会で覗えました。

65才は人生の分かれ道、仕事をすめる人、ゆっくり休む人、どちらも人生これからだ。

流れは清し千川 岸の桜香がよう相むつぶ心うるわしく……

「相むつぶ心うるわしく」ここがいいと感じます！
25回生、卒業年度の担任群団は森田、山崎、雨宮、黒山、花崎、戸塚、居駒、勝又の先生方でした。

【2年3組TOMY】
高校33回卒(S56年卒)同期会
令和元年9月15日(日)
於・池袋東口グレースバリ池袋

高校33回、1981年卒業の同期会を65名参加の元、開催しました。実はこの6年前、50歳の時に事実上の初の同期会を約100名の参加池袋の居酒屋で開催しました。

2クラス合同のクラス会を企画した所、ほぼ8クラス全てに声がかかり、プチ同期会と銘打って動いていました。が、恩師2名の参加を見る、大規模なものになってしまいました。その際、オリンピックの時だったこともあり、4年後には開催しますと終わったのですが、昨年、6年後の

開催になってしまいました。恩師の方々も年齢を重ねた事もありませんでした。

今回、56歳になる年になって、親の介護や子育ては終わったものの孫育て、体調の変化など、いろいろな事情で参加出来ない方もおられました。が、65名の元気な姿を見て、勇気と元気を貰える会になりました。

次は60歳になる2023年の開催を楽しみに進んでいきます。

【幹事・岩崎高】



都立豊島高校 第33回卒業生 同期会 令和元年9月15日 於 グレースバリ池袋

高校38回(S61年卒)同期会
令和元年9月22日(日)

昨年、池袋で3年連続の同期会を開催しました。一昨年まではいづれも土曜日夕方のお昼にして、今回は日曜日のお昼にして、曜日・時間帯的に参加が難しかった人たちにも

来てもらえるようにしてみました。これまでの2回と比べると出席者数は減りましたが、それでも80名を超える同期が集まり、また、鈴木裕太先生も顔を出してくださり、大盛況でした。

さすがに3年連続なので新鮮味も失せてきたかなと思つていましたが、昔話やお互いの現状について語り合うネタは、尽きないものですね。あちこちで話に花が咲くようすを見て、改めて

同期のつながりの大切さを感じたしだいです。お昼に始まった会は、夕方、二次会、三次会へとなだれ込み、最後まで残ったメンバーは、かれこれ12時間近く一緒にいながら、名残惜しうに解散したのでした。

30年ぶりに集まってから3年連続で同期会を開催したので、いったんここでひと区切り。次回は3年後に開催することを宣言し、その間、全体では集まらないものの、同期会を通じてできたそれぞれのつながりは、継続していけたらと考えています。

3年後、またできるだけ多くの同期と集まり、お互いに元気であることを確認するのが、いまから楽しみです。

【幹事代表・須藤渉一】



吹奏楽部の現状とOB・OG会への参加のお願い

昨年11月にオープンした真新しい豊島区民センターで「OBの集い」を開催しました。参加者が思うようには集まらず、OB・OG会の活動は理想的とは言えないのが現状です。

一方、新顧問の城田先生を迎えた総勢151名の現役生の活躍は目覚ましく、東京都吹奏楽コンクールにはA組、B組、C組の3団体に出場し、すべての組が金賞を獲得しました。

しかし現役生は、未だに深刻な楽器不足という問題を抱えており、その問題解決への力添えとOB・OG同志の交流をキーワードに、OB・OG有志が数年前よりOB・OG会の再構築を始めています。現役支援には寄付金を呼びかけ、現役が要望する物品の購入、練習時の差し入れをしています。

昨年度は大型メトロノームを提供しました。ご寄付いただいた方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。

今後とも秋に継続的にOB・OGの懇親の場を計画していきます。OBの集い、現役の情報、お問い合わせ等はHPをご覧ください。OB・OG会活動へのご参加をお願いいたします。



<https://toshimabrassobkai29.jindo.co.jp/>
【幹事一同】

柏豊会からのお知らせ

「通信協力費」のお願い!!

昨年度も「通信協力費」にご協力頂き、深く感謝申し上げます。ただ、数年前より通信協力費の入金が1/3に減っておりまして、さらなるご協力をお願い致します。通信協力費は会報発行・親睦会・学校援助金等に有効活用しております。

送金につきました

同封の振込用紙をご利用ください。親睦会参加費等とは異なります。(柏豊会の会費は、卒業時に入会金として終身会費を受け取っています)

総会の返信はがきにつきました

毎年、総会の返信はがきをご提出頂き、ありがとうございます。今年の総会は中止しますが、総会の議決権を行使してご提出願います。

高校36回(昭和59年卒)同期会のお知らせ

日時 令和2年11月21日(土)
会場 アカデミーホール(池袋)
費用 未定
連絡先 toshimakoko1984@gmail.com

4年ぶりの開催です!
笑顔で再会できることを楽しみにしています!

柏豊会規約を改定します

規約「第9条 総会は定時総会として原則、毎年度の6月第1日曜日を開催する」の「6月第1日曜日」を「6月の日曜日」に変更します。

これにより来年度以降の総会(親睦会)が6月第1日曜日以外になることがあります。詳細についてはホームページ等でお知らせ致します。

輝ける豊島生募集!

卒業生の中でぜひ同窓会報で紹介したい方を募集しております。自薦他薦は問いません。ぜひ柏豊会まで情報をお寄せください。

送金口座・加入者名 (ゆうちょ銀行振替口座番号)
00150-7-403846 柏豊会(都立豊島高校同窓会)
通信協力費(任意)として一口1,000円以上(千円単位)
同封の振込用紙をご利用ください。ゆうちょ銀行またはお近くの郵便局からどうぞ。払込書機能付きATMでもご利用いただけます。手数料は依頼人払いとなりますのでご了承下さい。
通信欄に卒業回・クラス(または宛名ラベルの印字コード)、依頼人欄の住所・氏名の記入をお忘れなく。
振込用紙は一部の方を除き毎年同封されます。先の方まで送金済みの方は破棄願います。
同期会などでまとめた入金も可能です。通信欄で詳細をお知らせください。
振替金の受領証をもって領収書に代えます。
振込用紙の個人情報情報は柏豊会で厳正に管理します。なお、用紙の保管は5年間で以後は破棄いたします。
他銀行からの振込の場合は下記の番号をご利用下さい(同封の振込用紙は使用できません)
店名:O一九店 店番:019 預金種目:当座預金 口座番号:403846

【物故者】平成31年4月から令和2年3月まで逝去の連絡を頂戴した旧職員・同窓生を掲載し、個人のご冥福をお祈り致します。(順不同・敬称略)

Table with 3 columns: Name, Birth Date, Death Date. Lists deceased members and staff, including names like 安西(清水)良子, 田宮(柿崎)葉子, 板倉(富永)多江, etc.

教職員員の異動(順不同・敬称略)
着任▼杉山智子(副校長)小岩高から▼八百板真弓(国語)竹台高から▼田中まどか(国語)麴町女子学園から▼内野俊和(地歴)田園調布高から▼和田英明(数学)武蔵丘高から▼上田萌悦子(英語)稔ヶ丘高から▼東祥三(英語)青山高から▼酒井友実子(英語)田柄高から▼松本梨菜(英語)新宿区立落合中から▼大吉雪野(養護)桐ヶ丘高から▼梅川由美子(数学)井草高から
転任▼北江繁治(副校長)杉並高へ▼奥間透(国語)石神井高へ▼糸井明子(国語)鷺宮高へ▼黒田千代(地歴)鷺宮高へ▼藤井孝(数学)保谷高へ▼大槻雅子(英語)千早高へ▼藤丸俊宏(英語)大山高へ▼宮崎幸子(英語)竹早高へ▼身内照江(美術)晴海総合高へ▼林紀子(養護)深沢高へ《着任は4月1日付、転任・退職3月31日付です》

高校を介しての

運命的な繋がり

工藤 豊太

(高校18回・S41年卒)



私は平成15年の4月に豊島高校に隣接していた豊島区立第十中学校に第15代校長として赴任しました。校長としての役割は、第十中を円滑に閉校し、千早中と長崎中との三校統合を成し遂げることでした。閉校に当たって記念誌を作成することになり、第十中の歴史を紐解いていくと、私が見えなかった豊島高校との深い繋がりが書いてきました。閉校記念誌に私が書いた挨拶文の一部を紹介します。

「豊島区立第十中学校の五十七年に及ぶ歴史に幕を引く時がやってまいりました。本校は昭和二十二年四月に、当時の都立第十高等女学校の敷地の中に新制中学校として開校するのと同時に、第十高等女学校の建学の精神を継承したいという意味も込めて、校章と「第十一」の校名も引き継いで学校つくりの緒に就いたと記録の中に残っています。(中略)

吹奏楽部が連続金賞を取っていた時期、私自身は隣の豊島高校で、第十中を横目で見ながら豊島高校の吹奏楽部の発足に向けて、仲間とともに奔走していました。そんな第十中

に自分が赴任し、幕引きをする立場になろうとは、何か、運命的なものを感じます。(後略)

豊島高校を卒業して、35年過ぎても、閉校記念誌に書いた通り当時の記憶は鮮明に残っています。特に、私の高校時代の生活は吹奏楽部(当時は同好会)を中心に回っていました。その中で運命的な出会いが、西澤昭男先生です。同好会でスタートした吹奏楽部の顧問が西澤先生でした。同好会の吹奏楽部は楽器が無い状態から始まりました。楽器が手に入ったら絶対役に立つからといって毎日毎日バチをもって、机を叩いていました。そんなある日、西澤先生が教室にやって来て、「楽器が手に入るぞ、みんなで取りに行こう」という先生の呼びかけには体が震えました。それから、夏の暑い日学校のリヤカーを借りて、神田方面まで楽器を取りに行ったことから吹奏楽部の創成期が始まりました。

「今日は、西澤先生が来るぞ!」という情報が入ると練習に一段と熱

が入りました。練習した曲の中で印象に残っているのは「ラ・クンパルシータ」です。タンゴの雰囲気掴めないでいる私たちに、先生が体全体を使って拍の重さを指導する姿は今でも鮮明に覚えています。

西澤先生はその後国立大学に移りました。しかし、私はもう一度先生との運命的な出会いがあります。それは先生が、文部省の初等中等主任教科書調査官の時代です。私はその頃、北区立赤羽台西小学校で音楽専科を務めていました。そんな関係で小学校での教科書の扱いや内容について教えて欲しいと連絡を受けて、先生との繋がりが再び訪れました。

私は現在、東京音楽大学の特任教授として、音楽科教育法や教職実践演習を担当しています。そんな講座にも豊島高校吹奏楽部の出身者が現れる様になり、様々な形で豊島高校の繋がりの運命的な出会いが続いている状況です。



左から2人目がご本人



下段右から2人目がご本人

柏 豊 65 号

2020年5月10日発行

© 柏豊会 2020 / 本誌は非売品です

【注意】 掲載情報の二次利用及び本誌の転載・複製等を厳禁します

制作・著作 柏 豊 会

(第十高女・豊島高校同窓会)

〒171-0044 東京都豊島区千早 4-9-21
豊島高校内

会長 鈴木 優 子

TEL 090-4228-8758 FAX 03-3972-4037

印刷 豊同窓会事務局

《会報編集委員》

木村 太一	小川 淳	寛美 克一
森 貫昌	大野 須藤	之一 子明
綿 貫昌	須藤 谷	
大平 正子	中 谷	
豊 島 宏	赤 坂	保

編集後記

◆新型コロナウイルスが世界中を揺れ動かしています。急遽ですが、柏豊会の総会・親睦会も中止とさせて頂きます。感染症防止で学校が使用できないためです。総会は中止しますが、はがきによる議決と致しますので、返信はがきをご提出下さい。来年会いしましょう。

◆P7「返信はがきの中から」は、総会の返信はがきに書ききれないほど学校の思い出や近況等を寄せて下さる皆様の声を何とか形にできないかと思いついてみました。今回は先生や高女の方を中心に載せてみました。皆様どうぞお元気で。

◆教育委員会の方針により同窓会加入も任意制となり、柏豊会に入る際も申込書を提出する事になり久しいですが、今年なんと入会者が1/3となっていました。追加で入会受付等していますが、遂に同窓会に対する卒業生の思いもここまで希薄になったのかと落胆しています。先輩方の妙案を賜りますと共に通信協力費のご支援をお願い致します。